

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第2回 茨木市こども育成支援会議
開催日時	令和6年 9月20日(金) 午後7時00分～8時00分
開催場所	茨木市役所南館8階 中会議室
出席委員	川西委員、五寶委員、柴田委員、樽井委員、津村委員、畑瀬委員、福田委員、古川委員、三角委員、村上委員、安原委員、山本委員(五十音順)
欠席委員	久保委員、下田平委員、中谷委員、西川委員、濱園委員、前田委員、森委員、山田委員、(五十音順)
事務局	山寄こども育成部長、東井こども政策課長、村上子育て支援課長、浜本こども育成部副理事、中島発達支援課長、中路保育幼稚園総務課長、森保育幼稚園事業課長、藪内学童保育課長、松山人権・男女共生課長、澤田福祉総合相談課長、莫根生活福祉課長、奥野健康づくり課長、河原商工労政課長、伊藤社会教育振興課長代理、梶西学校教育推進課長、栗生教育センター所長、吉田こども政策課長代理兼政策係長、山田こども政策課職員、池こども政策課職員
案件	会議案件 (1) 茨木市次世代育成支援行動計画(第4期)実施状況報告について
配布資料	(資料1) 茨木市次世代育成支援行動計画(第5期)の骨子(案) (資料2) 茨木市次世代育成支援行動計画(第4期)実施状況報告書(案)

発 言 者	発 言 内 容
司 会 (東井こども 政策課長)	茨木市こども育成支援会議を開催いたします。 まず、本日の委員の出欠状況について、本日 20 人の委員のうち 12 名の出席をいただいております。 また、株式会社サーベイリサーチセンターが会議録作成のため、この会議に同席しております。 それでは、茨木市こども育成支援会議条例第 6 条第 1 項の規定により、会議の議事進行を福田会長にお願いいたします。
福田会長	本日の会議は半数以上の委員に出席いただいておりますので、こども育成支援会議条例第 6 条第 2 項により、成立しております。なお、審議内容につきましては、これまでどおり発言者のお名前を付けて公表させていただきたいと考えておりますが、ご異議ございませんか。
一同	異議なし
福田会長	それでは、会議の案件（１）について、事務局より説明願います。
吉田こども政策課課長代理 兼政策係長	資料 1 をご覧ください。今後策定する第 5 期計画ですが、まず基本理念を「未来を創るこども・若者が地域とともに成長するまち“いばらき”」としており、その下に「こども・若者の最善の利益を目指して」という基本方針をかかげております。 次に資料の左側、「根拠法律」や「計画期間」等を記載している縦長の枠の真ん中の「基本構成」をご覧ください。この第 2 章の「現状と課題」の場所に、本日皆さんに審議していただく内容の総まとめが反映されます。また、第 4 章の「施策の展開」に、今回の資料 2 でお示ししているような個々の事業を掲載する予定です。 また、「ライフステージに沿った視点」と「世代を超えた横断的視点」があります。第 4 章の「施策の展開」には約 150 事業を記載する予定ですが、この 2 つの視点のもとに振り分けられます。「ライフステージに沿った視点」では、第 4 期計画と同様の振り分けをする予定ですが、下の「世代を超えた横断的視点」については、第 5 期からの新たな視点になりますので、改めてその視点の下にどの事業がぶら下がるのかを今後検討していただくこととなります。その検討については、10 月以降のこども育成支援会議でご審議いただくことになると思いますので、よろしくお願いいたします。 では、本日の審議内容について、資料 2 をご覧ください。こちらは、令和 2 年 3 月に策定した「茨木市次世代育成支援行動計画（第 4 期）」に位置付けた各事業・各取組について、これまでの実績を分析及び評価した結果を取りまとめたものになります。全部で 153 事業あるのですが、妊娠・出産期から青年・若者期までのライフステージごとの施策と、仕事と生活の調和が実現できる環境づくり、社会全体で子育て家庭やこども・若者を支援できる環境づくり、こどもの貧困対策という 5 つの施策の展開の下に振り分けており、事業ごとに分析・評価をしているものです。事務局からの説明は以上です。

福田会長	今日の進め方、元となる基本理念等々の説明をいただきました。ご理解いただいたということによろしいでしょうか。
一同	異議なし
福田会長	それでは、実際の中身の審議に入りたいと思います。まず、3～13 ページについて、事務局から簡単に説明をお願いいたします。
吉田こども政策課課長代理 兼政策係長	ライフステージの妊娠・出産期についてです。まずこのステージについては、心身の変化が著しい時期である妊娠・出産期において、出産経験のない母親でも安心して妊娠や出産ができるよう、妊産婦の健康保持・増進する取組を掲載しています。このステージでは、妊娠期からの切れ目ない支援という視点から、母子保健事業と子育て支援事業を一体的に提供する体制の構築が実現できたことが大きな成果と思われます。以上です。
福田会長	3～13 ページの妊娠・出産期について、ご意見・ご質問があればお受けしたいと思います。 5 ページの「保健相談」について、電話指導の令和 5 年が前年度よりも減少していますが、この背景について事務局として把握していることがあればお願いします。
浜本こども育成部副理事	相談件数の減少については、11 月におにクルに移転し、子育て支援機能と母子保健機能が一体的な事務所となりました。以前は電話でのやり取りを何度も重ねていたところを、対面での情報共有等ができるようになったことにより、電話相談の件数が減っているものと理解しています。
福田会長	もしかしたら若い世代は電話以外の相談方法になりつつあるのではないかと、という印象を持ちながら見ていました。 私から引き続いて 4 ページ、両親教室のパパ&ママクラスがありますが、パパ&ママクラスとは、具体的にどのような指導をされているのか、簡単に紹介してください。
浜本こども育成部副理事	両親教室は、妊娠中の心と体の変化、沐浴や赤ちゃんの着替えの体験等を実施しています。ご夫婦やパートナーと一緒に来られる方も多く、子育てについて幸福で前向きに捉えるような和気あいあいとした教室になっています。主に沐浴や着替えの体験になっています。
福田会長	両親教室を考える時に、父親からすると沐浴は育児に参加しやすく、割と楽しいシーンです。夜中にミルクを作ってあげることは大変なことなので、作ったことのない父親は作ることすら困難だと思います。それを夜中にするということの内容に盛り込んでもらえれば、育児の大変さがよりわかって良いのではないのでしょうか。時間の都合もあると思いますが、今後ご検討いただければと思います。 特になければ、次に進みます。続いて、就学前期 14～52 ページです。事務局より説明願います。
吉田こども政策課課長代理 兼政策係長	このステージについては、健診や予防接種、食育の啓発等、こどもの健康保持・増進に関する取組の他、幼稚園・保育園・認定こども園等に係る就学前教育と保育体制の充実を図る施策、地域で安心して子育てができる環境づくりに

	関する施策等を掲載しています。このステージは事業数が非常に多いことが特徴の一つですが、その中の事業の一つで、保育提供の充実については、増え続ける保育ニーズに応えるためにさまざまな取組をした結果、待機児童が減少したことから一定の成果があったものと考えています。以上です。
福田会長	それでは、就学前期についてご意見・ご質問はございますか。
三角委員	保育体制が充実してきたとの説明がありましたが、各事業の改善点が一番下の Action に書いてあります。すごく簡単に書かれていて、この先どうするのがあまり書かれていません。次期の行動計画に表していくことになるとと思いますが、そのあたりをもう少し詳しく書いておかないと、次にどう計画していくのかが見えてこないと思います。
中路保育幼稚園総務課長	非常に重要なところだと思います。どういう書きぶりが良いのか、また検討したいと思います。
福田会長	他いかがでしょうか。
古川委員	3歳6か月児健診についての要望になりますが、最近、発達が気になるお子さんが多く、健診でも感じられていると思います。人によっては自分から療育に通いたいと積極的に行かれる方もいれば、自分の子が遅れているため一緒にいるのがしんどいという方もいます。そういう時間帯をずらしてほしい方のための枠を作っていただくことは可能ですか。
浜本こども育成部副理事	3歳6か月児健診は、医師や歯科医師等の時間もありますので、その方だけの日程調整は難しいと思いますが、今の体制でどのようなことができるか検討したいと思います。
福田会長	健診の最後に相談のようなものはあるのですか。
浜本こども育成部副理事	健診ごとの課題等に応じて保健相談を実施しています。
福田会長	そこでの感度を高めてもらおうと、また違うと思います。
古川委員	後から相談する人はいると思いますが、そもそもその場に行くのが怖いという方もいらっしゃると思います。そのあたりをくんでももらえると嬉しいです。
福田会長	他いかがでしょうか。 17 ページの予防接種について、感覚的には接種率が若干下がってきていると理解して良いのでしょうか。ある意味この手の予防接種に対する信頼度が社会の中で下がっているのではないかと思います。実施している中で感じるものはありますか。
浜本こども育成部副理事	特に感じることはありませんが、効果や副反応も併せてお伝えする中で、ほとんどの方は受けていただいている感覚ではあります。
福田会長	9割以上が受けていますが、残りの割合について積極的な情報提供があると変わってくると思います。 他になれば、次に進みます。続いて、小中学校期 53～83 ページについて、事務局より説明願います。
吉田こども政	このステージについては、さまざまな社会的影響を受けやすい思春期におい

策課課長代理 兼政策係長	て、健康づくりの視点から、こども達が健康や性に関して正しい知識を身につけることができるような取組を、また、小中学校においては確かな学力と豊かな心を育む教育に関する取組等を掲載しています。その他、安全で安心な居場所づくりについても掲載しており、そのうちの一つの学童保育については、保育ニーズの需要増に伴い、教室と指導員の確保にも注力しているところです。 一方で、生きづらさやさまざまな課題を抱えながら生活しているこども・若者が気軽に相談できて安心して過ごせる居場所であるユースプラザがこの地域に定着し、利用者増につながったことも、このステージの特徴の一つと考えています。以上です。
福田会長	ご意見やご質問があれば、お願いいたします。
川西委員	学童保育と放課後子ども教室の絡みについて。学童保育の児童と放課後子ども教室に申し込む児童を別々に遊ばせているところがあり、道具を振り分けているところがあると聞き、驚いています。常日頃学童保育に行っている児童とは遊べない。私どものところでは、学童保育の児童も課後子ども教室の児童も一緒に遊ばせています。何故一緒に遊ばせる居場所づくりをしていかないのかと感じました。
福田会長	確認ですが、学童保育のこども達と、放課後こども教室のこども達を分けないといけないルールがあるわけではないのですか。
藪内学童保育 課長	今現在、放課後子ども教室と学童保育を一体型で実施していこうということで推進しています。会議にも指導員が入り、区別することなく一緒に過ごすことを進めています。地区によっては区別しているところもあるかもしれませんが、市としては一体型で推進していく方向性を持っておりますので、いずれ縮小していくのではないかと思います。
福田会長	分けずにやっていく方向性について、確認しました。 他いかがでしょうか。
三角委員	中学校の部活動について、どこにもみあたらないのですが、どこかにあるのでしょうか。今、中学校の部活動は色々な問題を抱えています。茨木市はどういう考えで動こうとしているのですか。
梶西学校教育 推進課長	中学校の部活動については、2つの課題があります。1つは教職員の業務改善、もう1つはこども達の部活動の時間の確保です。部活動については、数年前から国が示しているとおりに地域移行の動きがあります。現在、特にいつまでに移行しなければならないということはありますが、部活動はこども達が生き生き過ごす機会の一つですので、茨木市として相応しい部活動のあり方を検討しているところです。この計画の中には特に入れていませんが、部活動をとおして豊かな心を育成するところにつながっていると課として認識しています。
三角委員	次期行動計画の中には、部活動のあり方について盛り込んでいただきたいと思います。
福田会長	他いかがでしょうか。 学童保育の運営について、一斉受付で待機児童はなかったが、対象学年の拡

	大は達成できなかったとのことでした。高学年でも利用できるなら利用したいという声は届いているのでしょうか。
藪内学童保育課長	第5期次世代育成支援行動計画のニーズ調査では、4～6年生の利用ニーズは一定数いらっしゃるかと確認しています。
福田会長	今後は拡大していく方向性と理解して良いのですか。
藪内学童保育課長	今のところ時期の明言は難しいのですが、茨木市内の児童人口は若干低減しているものの、保護者の共働きが増加しており、学童保育人口は増えています。ただ、受け皿の問題等、解決すべき問題があります。まずは1～3年生の優先すべき子達を保育しつつ、拡大していきたいと考えています。
福田会長	他になれば、次に進みます。続いて、84～93ページの青年・若者期について、事務局より説明願います。
吉田こども政策課課長代理兼政策係長	このステージについては、若者の就労サポートや生きづらさを抱える子ども・若者が地域で孤立することなく、社会とのつながりを保ちながら自立した生活を送ることができるような取組等を掲載しています。その他、青少年の健全育成を目的とした体験活動である青少年の野外活動について、一時期はコロナ禍の影響により利用者数が減少しましたが、利用申請のオンライン化や広報の充実等により、利用者が増加していることも成果の一つと考えています。以上です。
福田会長	ご意見、ご質問はいかがでしょうか。
山本委員	小学校の体育館に冷房がつけました。地域のミニバスクラブに娘が入っていますが、ボランティアで成り立っている団体なので、冷房代を払える財源がなく、真夏に1時間1,500円が払えず、せっかく体育館に冷房機能があるのにつけずに練習しています。体調が悪くなる子が複数人出て、保護者が冷房代を別途徴収して途中からつけることになりました。ボランティアで実施している団体への冷房代の支援等があれば、もっと加入者が増えると感じています。
福田会長	もしかすると、こどもが運動をするべきではない温度の中で運動をせざるを得ない状況になっているかもしれません。93ページの「各種スポーツ・レクリエーション活動」の一環とも関わることだと思います。
東井こども政策課長	この93ページの担当課はスポーツ推進課になっていますが、体育館を管理しているのが教育委員会の施設課になります。今日はその職員が参加できておりません。いただいたご意見を担当課に伝えて、次回書面になると思いますが、考え方や対応についてご報告いたします。
福田会長	他いかがでしょうか。 時間がありますので、どこからでも構いませんのでご感想等も含めてコメントを頂戴できればと思います。いかがでしょうか。
三角委員	この報告書案は令和6年10月と表紙に書いてあり、10月には報告書として完成させるということで、令和7年から次期行動計画でスタートしますが、あと何回このこども育成支援会議をされるのか。次の計画書案は、いつ出てくるのか。それを揉んでいかないと、何にもならないと思います。報告書の修正は限

	られたものだと思いますが、次期計画を練ることがこの会議のあり方だと思っています。皆さんもお仕事を持ちながら忙しい中で来られています。そんな中で何回も集まることはできないと思いますが、まだ次期計画書の案が出てきていません。このあたりは、どのようにスケジュールされているのか教えてください。
東井こども政策課長	第4期計画策定時と同様のスケジュールで策定を進めています。本日と24日の2回に渡って第4期の総括を行う予定です。10月に具体的な次期計画の素案をお示しする予定です。ただし、内容にボリュームがあるため、10月も1回ないしは2回の開催を予定しています。また、その進捗次第では、11月にもう1回開催したいと考えています。そして、年末12月に計画素案を策定し、こども育成支援会議に諮問という形で会長にお渡しした上で、1月年明けに素案に対するご意見をいただきます。2月上旬にパブリックコメントを実施、素案の最終案を2月にまとめ、3月のこども育成支援会議で最終答申をいただき、3月末に策定したいと計画しています。通常であれば年間4～5回になりますが、今年度は今申し上げた回数で進めてまいりたいと考えています。
福田会長	他いかがでしょうか。事業に関わらず、普段子育てについて考えていること、もしくは市に確認したいことでも結構です。
畑瀬委員	先ほど、予防接種の接種率について話題になりました。9割程度の接種率があるとのことですが、残り10%の接種していないこども達に対する具体的な支援はあるのでしょうか。そういうところから、いわゆるネグレクトや虐待に発展していくこともあり得ますので、どのような支援・アプローチをされているのか、教えてください。
浜本こども育成部副理事	結果的に接種しなかった方への支援はないのですが、接種時期には個別に通知しています。また、就学前の健康診断の折にチラシを配るなど、広報には努めています。国はMR2期95%以上として、麻疹の流行を防ぐための目標設定をしていますので、市としても接種率の向上に向けての取組を実施しています。 例えば何かの病気で接種できなかった方の救済措置は、申請によって認められる場合もありますが、ネグレクト家庭や自費接種への費用助成は今のところ実施していません。
畑瀬委員	入所してくるこども達で未接種が非常に多いです。住民票が茨木市にないこども達は、元々の市と連絡を取って、そこから茨木市で接種する許可をもらうなど、色々なやり方があります。課題を抱えている家庭は、我々がごく普通に当たり前のようにしていることができていないことがあります。そういうところにアンテナを伸ばして、積極的な支援をしてもらえれば有難いです。
福田会長	他いかがでしょうか。
古川委員	赤ちゃん訪問等でつどいの広場の周知をしていただき、そこから利用される方も多いので、今後も継続してもらえると嬉しいです。 39ページの「地域子育て支援拠点の整備・運営支援」の「現在25か所設置済」というのは、つどいの広場だけでなく他の拠点も入っているのでしょうか。

村上子育て支援課長	つどいの広場に加えて、地域子育て支援センターのある保育所等4か所、すこやかセンター1か所の5か所ですので、つどいの広場の20か所と合わせて合計25か所になります。
福田会長	他いかがでしょうか。
山本委員	先ほどの体育館の冷房の話ですが、体育館全体が冷えるまでに約30分かかります。体育館が冷えきるまでの30分だけでも援助してもらいたいと思います。
福田会長	次回の回答を待ちたいと思います。
津村委員	私もこどもの野球の地域の代表で、グラウンド利用のための施設会議に出席しています。そこでも、体育館利用者さん達の色々な意見を聞いています。冷房利用のためのカードを学校で買えないのか、という意見があります。市役所に先に買いに行かないといけない。学校に臨時で土日に来てくださっている方がいるので、その方をお願いして1枚1,500円分をすぐには買えたら良いと思います。 あと、先ほどの3歳6か月児健診について。発達に課題があるかもしれない子はすごく大変で、他のこどもが大人しくしているのを羨ましいと思いながら頑張っていて、自分のこどもが他と違うということはあまり認めたくない。でも、小学校3～4年生の時に本当に違うと思い、グレーゾーンの検査に行くまで、親としても覚悟が必要になります。後の時間に相談したら良いというのはごもっともですが、それもなかなか辛いです。保護者もなかなか認められず受け入れるのに時間がかかるので、そこをくんでほしいと思います。
福田会長	冷房を利用するには、カードが必要なのですね。夏にエアコンがなければスポーツができない。いつ行ってもエアコンが使える環境がまず一番良いと思いますが、それができない背景があるのだと思います。それらも含めて今後の方向性等を報告いただければと思います。 それから健診について。どういう形でこどもの特性を親が受け入れていくのか。そのプロセスは、そんなに簡単ではないことを理解していただいて、そこに配慮した上でどうサポートしていただけるのかだと思います。
村上子育て支援課長	昨年の11月からおにクルをオープンし、そちらにこども健康センター、子育て支援総合センター、2つの機能を1か所に集約し、2階事務所にこども支援センターとして新たにオープンしています。そこには、発達に課題があるこどもの成長にご提案ができる心理士、保健師、栄養士、保育士など、色々な職種を配置しています。遊びにきたついでに気軽に寄っていただけるよう、少しの時間でもご相談いただける場所を目指しています。いただいたご意見を参考にしながら、もっと気安く気軽にお声掛けいただけるような環境づくりを目指したいと思います。また、電話相談等も開設しています。最初のハードルは高いと思いますが、そこを何とか低くして、困り事があるお子さんを助ける、また、保護者に寄り添う子育て支援を進めたいと思います。
福田会長	さまざまな窓口がありますので、積極的に利用していただけるように声掛けもお願いしたいと思います。

	他にいかがでしょうか。
安原委員	先ほどから体育館の話がありますが、隣の摂津市では 300 円なのに、なぜ茨木市は 1,500 円という 5 倍の値段になるのか。あと、学童保育に関しても拡充されるという話ですが、隣の市ではそもそも 4～6 年生も受け入れています。茨木市民として住みたいまちになるよう、早急に対応していただきたいと思います。
福田会長	体育館については、近隣もお金を取っているのかと思いましたが、結構な金額の差がありますので、その理由についても次回報告いただければと思います。学童保育も先行他市に倣って、茨木市でもニーズがあるのでペースを上げてほしいというご意見かと思えます。 他にいかがでしょうか。 (質問者なし) 来週も予定しているので、94 ページ以降は次回に検討できればと思います。それでは、今後のこども育成支援会議の日程について、事務局から説明願います。
吉田こども政策課課長代理 兼政策係長	次回のこども育成支援会議は、9 月 24 日火曜日の午後 7 時から本日と同じ場所で予定しています。会議案件は、本日の続き等を予定しています。10 月のこども育成支援会議は、第 4 回を 10 月 15 日午後 6 時から、第 5 回を 10 月 25 日午後 7 時から予定しています。10 月の案件については、次世代育成支援行動計画第 5 期素案の中の第 4 期評価について検討を予定しています。以上です。
福田会長	それでは、本日はこれもちまして終了とします。長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。